

～登壇者ご紹介～

加藤 浩徳

東京大学大学院工学系研究科

社会基盤学専攻 教授

運輸総合研究所 研究アドバイザー



<略歴>

交通政策審議会など国・自治体の多数の委員会委員、国際学術誌Asian Transport Studiesの編集長等を務めた。国際関連機関の業務にも多く携わる。専門は、交通計画、交通政策、交通経済学、交通経営で、国際交通学、国際プロジェクト学にも展開

最近の主な著書

“Digital Transport Platforms and Urban Mobility: Ride Hailing Applications in Southeast Asia” (編著, 2024), “Global Logistics Network Modelling and Policy: Quantification and Analysis for International Freight” (共著, 2020), 「「みなと」のインフラ学 –PORT2030の実現に向けた処方箋–」 (共著, 2020)

最近の主な研究課題

開発途上国・新興国の持続的発展に関する研究, グローバルあるいは広域な観点からのインフラに関する研究, 日本の海外インフラ展開戦略や技術移転に関連する研究, 交通計画・政策に関する基礎的な研究

最近の主な受賞・栄誉等

チュロンコン大学栄誉教授(2026), タイ国・最優秀博士研究指導者表彰(2026), アジア交通学会KOTI特別賞(2025), 東京大学・オンライン授業等におけるグッドプラクティス総長表彰(2021)